

定例記者会見 市長コメント（概要）

① 専門学校の開校に向けた準備状況について（資料1）

釜石市国際外語大学校は、これまで、釜石市からの要望を受けた学校法人龍澤学館により開校準備が進められ、当市においても市教育センターの学校校舎としての改修と活用などの受け入れ準備を進めてきた。

当初、外国人留学生向け日本語学科と理学療法学科の2学科を念頭に準備を行っていたが、理学療法学科の専任教員および臨床実習先施設の確保困難、建物改修費用や医療用備品各種購入費用等の負担などにより、理学療法学科にかえて「釜石及び沿岸部の高校生の進学先となる地元定着に寄与する専門課程学科」と「留学生が日本語学科修了後も釜石にて学び就職できる専門課程学科」を検討することとし、日本語学科と合わせて3つの学科の検討と準備を進めてきた。

今般、日本語学科設置の延期及び新学科の設置申請について、同法人から連絡があったものである。

本年10月の日本語学科開設については、学校法人龍澤学館に対して、法務省出入国在留管理庁より告示不相当との伝達があったとのことである。これにより、予定していた日本語学科設置は延期されることとなり、同法人として、現在も原因と対策について分析と情報収集を進めている。

これを踏まえて、同法人からは新たに令和6年10月設置を目指して申請の準備を行う予定との方針をお聞きしており、当市としては、日本語学科設置に向け、引き続き連携と支援を行って参る。

また、釜石及び沿岸部の高校生の進学先となる地元定着に寄与する専門課程学科については、同法人が岩手県に学科設置に向けて 仮称・外語観光学科の申請を行ったとお聞きしている。

以上のとおり、計画に変更があったが、当市としては引き続き龍澤学館と連携して、開校に向けた準備を進めて参る。

② 新市庁舎建設について

新市庁舎の建設については、3月27日に工事事業者の選定を総合評価落札方式により建築主体工事の入札公告を公示し、所定の手続きを行い7月7日に優先交渉権者を「大林組・八幡建設・山元特定建設工事共同企業体」と決定したところである。

しかしながら、昨今の資材高騰などの理由により、7月12日付けで共同企業体より辞退の申し入れがあり、これを受理した。また、それに伴い7月13日に入札を行

う予定であった電気設備工事、機械設備工事においても中止としたところである。

今後の予定であるが、新市庁舎建設工事の再入札を行うため、直近の単価を用いた再積算を改めて行い、早期着工に向けて取り組んでまいるが、再積算の結果によつては予算の増額などの手続きが発生する場合もあるので、具体的なスケジュールが決まり次第改めてお知らせする

③ 第1回ワールドアマチュアラグビーフェスティバルへの岩手・釜石チームの派遣について（資料2）

9月に開催されるラグビーワールドカップ2023フランス大会に併せて、市の姉妹都市ディーニュ・レ・バン市を中心とする南フランス7都市で、「第1回ワールドアマチュアラグビーフェスティバル」が開催される。

この大会への参加は、県や関係団体と連携のもと、「ラグビー国際交流推進事業実行委員会」を設立して岩手・釜石チームを派遣するための取組みを進め、ラグビー国際交流推進事業実行委員会において、「いわて釜石ラグビーフットボールクラブ」の派遣団が選任されたのでお知らせする。

派遣団役員は、実行委員会委員で岩手県ラグビーフットボール協会会长の白根敬介さんが団長に選任された。白根さんは、ラグビーワールドカップ2019日本大会岩手・釜石開催やラグビーを通じた人材育成にも精通しているので、当派遣団の団長として選任されたものである。

副団長と総務・渉外担当には、同じく実行委員会の事務局で当市のスポーツ推進課長と国際交流課長が選任され役員3人体制となっている。

チームスタッフは、監督であるヘッドコーチには当市スポーツ推進課の佐伯主任が選任された。佐伯主任は、釜石市ラグビ一人材育成専門員でもあり、釜石シーウェイブスRFCの選手及びコーチとしての実績があることから、選任されたものである。

また、バックスコーチ兼選手には、日本製鉄株式会社北日本製鉄所釜石地区的篠原洋介さん、フィールドアシスタント兼選手には、地域おこし協力隊の竹中伸明さん、チームドクターに斎藤次彦医師、チームトレーナーに三田副起子さんの5人が選任され、既に、ラグビー国際交流推進事業実行委員会で発表している選手27人を含めて、派遣団は総勢35人が選任されたものである。

次に、クラウドファンディングについてである。

クラウドファンディングの実施は、7月31日に終了しているが、支援金額は7月30日現在63万5千円に達し、多くの方にご支援をいただいたところである。

実行委員会では、いただいた支援金を、ディーニュ・レ・バン市や大会実行員

会への寄贈用のオリジナル大漁旗や大会参加チーム等に配布するチームオリジナルペナントなどに充当する予定である。

今後のスケジュールであるが、8月下旬に開催予定の実行委員会で、現在作成中のユニフォームのお披露目などを予定している。

また、8月26日から27日に鶴住居復興スタジアムで行うチーム合宿では、チーム戦術の確認等のほか、チームの士気を高めるための結団式やチームの派遣目的である東日本大震災でいただいた復興支援に対する感謝の発信やラグビーワールドカップ2019日本大会岩手・釜石開催のレガシーの継承などに関する事前研修会なども予定しているところである。

さらに、9月10日には、渡航前のチームとしての最終の合同練習会を行う。

この大会参加には、渡航費用等に多額の費用がかかることから、現在、企業版ふるさと納税等による寄附を募るなど、広く皆さまにご支援をお願いしているところである。本事業の趣旨をご理解いただき、ご協力賜りますようお願い申し上げる。

④新型コロナウイルス感染症対策について

5類移行後の感染状況であるが、季節性インフルエンザと同様に、指定された医療機関での定点把握に変更されており、全国的には、7月に入り、初めて1医療機関あたり10人を超える状況となっており、最新週では13.91人と、前週比1.26倍となっている。また、県内においては最新週では10.79人と、前週比1.55倍となっており、緩やかな感染拡大傾向が続いている。

夏休みや、これからお盆などを迎え、多くの方と出会う機会が増えるので、重症化しやすい方のいる医療機関や高齢者施設等を訪問する際には十分な配慮と、マスクの着用が効果的な場面においてはマスクを着用するなど、場面に応じた感染対策に取り組んでいただくようお願いする。

また、感染された場合や発熱等の症状がある方は、国が推奨する期間は外出を自粛するなど、適切な判断と対応をしていただくようお願いする。

次に、新型コロナワクチンの接種であるが、今年度は、現在行っている「令和5年春開始接種」と9月以降に開始する予定の「令和5年秋開始接種」となる。

「春開始接種」の現在の状況は、希望される方への接種を概ね終えており、集団接種は8月19日をもって最終となるが、8月末までは接種体制を確保するので、接種を希望される方には、対応可能な医療機関での個別接種にて対応する。

なお、「春開始接種」で接種された方を含め、初回接種を終えた5歳以上の方が、「秋開始接種」の対象となるので、国から詳細について示され次第ご案内する。